



すぎのこつうしん

平成30年3月 古川東町カトリック保育園

「4つの心で出発（たびだち）に備えましょう」

この2月はいつになく雪が降り、子ども達は大喜びで遊んでいました。園庭に雪が少しになってもソリを持ち出しては雪がなくなるのを惜しむかのように遊んでいました。

平成29年度もあと1ヶ月で終了となります。この1年間で子ども達は大きく成長しました。子ども達の成長は目覚ましいものがあります。大人よりもたくさんのお話を吸収していく力があることに驚かされます。

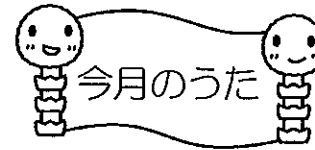
それだけに環境を整え、よいものをたくさん吸収するよう気を配らなければならない責任を痛感しています。親は字が読めたり、数を数えたりする学習面が出来る事がすごいと思ってしまう、その事でその子どもの価値判断をしてしまう傾向があることに非常に悲しい気持ちになります。子どもにとって最も大切な事は、心の成長だと思えます。心の成長は、家庭、両親が自分の事をそのまま受け入れてくれる心の基地となり、基地の中で心の安定を保ちながら、排泄、食事、着脱、生活リズムの確立など、大人が知らせながら習慣づいていくことが必要だと思えます。同時に4つの心「あいさつ、ありがとう、あたえあう、あやまりあう」を大人が見本となり、進級、卒園に備えて身に付けられるよう心掛けたいですね。4つの心は、これからの人生にとっても必要不可欠なことです。保育園でも来年度に向けて私たち職員も見本となるよう努めたいと思えます。

<園長 平野義子>

おたんじょうび おめでとう



おめでとう



『キリストのへいわ』

1. キリストのへいわが ※わたしたちのこころのすみずみにまで
ゆきわたりますように
2. キリストのひかりが ※くりかえし
3. キリストのちからが ※くりかえし

園歌『4つのこころ』

- | | | |
|---------------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| 1. おおきなこえでいおう
きょうもはじまる | やさしいえがおでいおう
あいさつできる | みんなのけんきなそのひとこと
カトリックほいくえん |
| 2. うれしくおもうとき
こころつうじる | たのしくおもったときに
ありがとういえる | みんなのきれいなそのひとこと
カトリックほいくえん |
| 3. プランコすべりだい
なかよしこよし | おもちゃにブロックかして
あたえあえる | いいよとやさしいそのひとこと
カトリックほいくえん |
| 4. ぼくからわたしから
いいきもち | ゆききをもっていってみよう
あやまりあえる | ごめんね たったそのひとこと
カトリックほいくえん |
| 5. よつこのこころはね
とてもあったかい | なかよくあそべる
ぼくとわたしの | まほうだね てとてをつないでかぞくみたいに
カトリックほいくえん |



“お父さん、お母さんから”

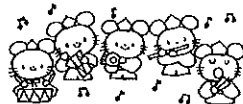
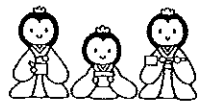
生後2ヶ月から入園し、あっという間に卒園の年となりました。抱っこしながら園に通っていたのが、ついこの間のようによく覚えています。

初めての子育てという事もあり、悩んだり困ったとき先生方に「大丈夫だよ」と言われただけで、どんなに安心したことが。大好きな先生とお友達に囲まれて毎日笑顔で通うことが出来たのは先生方のお陰だと思えます。6年間という長い間本当にお世話になりました。残り少ない保育園生活ですが、おもいでをいっぱい作ってほしいと思えます。

<ひつじ組 〇〇〇〇 〇〇ちゃんのお母さん>

行事予定

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 2日(金) ひな祭り会 | 15日(木) お別れ会 |
| 3日(土) 杉の子会役員会 | 17日(土) 第48回 卒園式 |
| 6日(火) 誕生会 | 19日(月) ~ 進級クラスでの生活開始
新年度準備期間 |
| 9日(金) 絆の日 | ※書類、所持品は30日まで持って来て下さい。 |
| | 23日(金) 破牙神イザナ龍防災教室 |





クラスだより

◆ばんび組（0歳児）

<ねらい>

- ・4つの心を育みながら、1歳児クラスに興味を持つ。
- ・食事や排泄など自分でしようとする気持ちが芽生える。

《家庭連携》

- ・「あいさつ」「ありがとう」「あたえあう」「あやまりあう」の4つの心を生活の中で知らせ、動作や言葉であらわすことができるようにしましょう。
- ・食事や排泄、着脱などを一緒に行いながら、自分でしようという気持ちが芽生えるよう声をかけていきましょう。

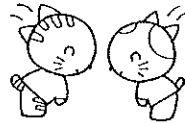
◆ひよこ組（1歳児）

<ねらい>

- ・4つの心を言葉や動作で表そうとする。
- ・進級に向け、期待を持って過ごす。

《家庭連携》

- ・ご家庭でもあいさつ・ありがとう・与え合う・謝り合うことを言葉にして伝えることで、言いやすい環境を作り、言えたことを褒めてあげましょう。
- ・2歳児クラスになることを知らせ、子ども達の頑張りをたくさん褒めることで意欲や自信を引き出していきましょう。



◆ことり組（2歳児）

<ねらい>

- ・3歳児クラスへ期待を持ち、4つの心を表す。
- ・大きくなったことを喜び、できる事は自分でしようとする。

《家庭連携》

- ・「あいさつ」「ありがとう」「あたえあう」「あやまりあう」4つの心を動作や言葉で表し、手本となって子どもに伝えましょう。
- ・食事、着替え、排泄、片付けなどできない所は手伝いながらも、自分でしようとする姿を見守りましょう。



◆こねこ組（3歳児）

<ねらい>

- ・4つの心を互いに意識し合い、生活する。
- ・進級することに期待を持ち、意欲的に過ごす。

《家庭連携》

- ・4つの心を一緒に確認する中でその大切さを知らせ、意識できるようにしていきましょう。
- ・進級することに期待が持てる言葉を掛け、身の回りのことを意欲的に行えるよう頑張っている



姿を褒めたり、励ましていきましょう。

◆うさぎ組（4歳児）

<ねらい>

- ・新しい出発（たびだち）に期待を持ち、4つの心が育つ。
- ・年長児になる期待や喜びを持って、色々な活動に意欲的に取り組む。

《家庭連携》

- ・5歳児になることの自覚や期待を高めたり、楽しみにできるような言葉をかけていきましょう。
- ・身の回りことを自分でやろうとする気持ちを受け止め、たくさん褒めて自信にしていきましょう。



◆ひつじ組（5歳児）

<ねらい>

- ・4つの心が育ち、出発（たびだち）に備える。
- ・就学への期待を持ち、自信を持って生活する。

《家庭連携》

- ・就学することに対して期待感や不安感を持つお子さんの気持ちに寄り添い、安心して就学できるようにしていきましょう。
- ・就学に向けて生活リズムを整え、身の回りの準備や片付けなど習慣付けて行きましょう。



◆給食室

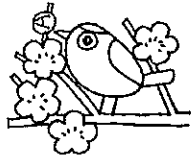
- ・1年も終わりに近づき、子ども達の成長を感じる事が多くなってきました。新たな年度を迎えるにあたり、子ども達の成長を見つけられるようお手伝いしていきたいと思えます。



「4つの心で出発（たびだち）に備えましょう」

子ども達は1つお兄さん、お姉さんになる喜びや嬉しさを感じています。4月当初は、自分の思いを上手く伝えられず、おもちゃや絵本など取り合って喧嘩をし、叩いたり手が出てしまう事があったことり組の子ども達。今では、絵本やおもちゃなどを「一緒に見よう（使おう）」と言って一緒に遊び、貸してもらった時は「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたり、友だちと喧嘩した時には素直に「ごめんね」と謝れるようになりました。また、朝、保育室に入ると子ども達から「OOせんせい、おはようー!!」と声を掛けてくれます。4つの心を伝えていくのは難しいと感じる日々ですが、1年を通して少しずつ身に付いていることに、嬉しさと子ども達の成長を感じます。今年度も残りわずか、4つの心を自分自身も振り返り、子ども達と共に成長していけるようにしたいと思います。

<ことり組担任 中鉢 瑞穂>



あなたの一分間拝借！

光陰矢の如し、卒園、進級、入学等の喜ばしき節目を迎えます。カトリック保育園での思い出を胸に希望と期待を持って旅立つ時を迎えます。カトリックの教育理念でもある4つの心を大いに発揮して学校生活を楽しまれることを祈念いたします。何事も準備が肝要です。準備することが沢山在るでしょうが、その中で一番大切な準備、それは心の準備です。カトリック保育園では、そのために4つの心を皆と一緒に実践して来ました。それでもまだ出来ない友達も居るようですから3月の教育目標を「4つの心で出発(たびだち)に備えましょう」といたしました。それによって「ひとりだち」が出来るよう皆で力を合わせて頑張ってお返ししたいと思います。

4つの心についておさらいしましょう。

4つの心は、人間が人間らしく生きる基本理念です。ひとつ欠けても、人格性を疑われても不思議ではないほどの重さと尊さを兼ね備えている言葉です。ハイテク機器文化の時代でも失ってはいけない性質、力であることに目覚めましょう。

①あいさつの心

あなたのあいさつがこころの窓であり、社会性への門であることを子ども達に伝承しましょう。

挨拶の仕方如何で人の品格が問われ、信頼関係まで影響を及ぼします。子どもは大人を見て学びますから自重自戒しましょう。

②ありがとうの心

自分を育てた親に感謝をいつも忘れないように祈る。乳児期からじっと見て、親の生き様から親の尊さを覚えるものです。大自然の恵み、人々の助け合いなども大人の素晴らしい献身的模範を見て自分も生かされていることに気づき、感謝の念をいただくようになります。感謝は神への道です。

③あやまり合う心

人は誰でも完全ではありません。過ち、罪を犯した時には互いに赦し合い、励まし合い、^{いさめ}諫め合い、戒め合いながら生きるよう求められています。自分の非を素直に認め「ごめんなさい」「ああ、いひよ」と和解するところに真の平和があり、神に至る道がひらかれています。

聖書に「一人の罪人の回心は、回心を必要としない99人の存在価値より天においては大きな喜びがある」と記されています。

④与え合う心

それは愛の仕業そのものです。他者の特に小さい人々即立場にいる方々と困難、痛みなどを共有する犠牲的仕業を指していることに心の目を向け、支援し合うことの尊さを理解して捧げなければ、自己満足に終わってしまう危険性が在ります。まさに見返りを伴わない仕業だけに人々の雑巾になる覚悟がなければ神に嘉される愛の仕業にならないことに注意しましょう。

4つの心は、保育園だけの専売特許ではありません。何処へ行っても、人間である限り身に付けなければならない徳です。社会を明るくし、家庭、学校を職場を楽しい生き甲斐のある場にする力です。どうぞいつまでも続けて4つの心をつかち合いながら仕合せを掴んでください。私たちは決して一人ではありません。あなたの愛と慈しみのあるところに神がいつもましますことを忘れず、力強く旅立って下さい。

平和の実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

<マタイ5の9>

カトリック古川教会
司祭 川井 啓

